

◎ あとがき ◎

本2月号では、「分子標的薬を極める」と銘打った特集を企画いたしました。いかがでしたか？ 分子標的薬を極めていただけそうでしょうか？

思えば、私と分子標的薬との出会いは、研修医1年目のときに先輩医師に慢性骨髄性白血病(CML)の研究会に連れて行ってもらった際に、米国では「STI571(イマチニブ)」というすごい薬が登場した、という話を耳にしたのが最初でした。まだぎりぎり前世紀(1999年)の話です。当時、インターフェロンなどの治療がなかなか奏功しないCMLの患者さんを受け持っていたことから、私自身大きな衝撃を受けました。ちなみにSTIとはsignal transduction inhibitorの略だそうです。この薬は後に「グリベック®」という商品名で2001年に日本でも承認され、CMLの標準治療を一変させました。

分子標的薬の素晴らしさは、その使用によってこれまでの治療法では十分に効果が得られなかった、あるいは治療することすらできなかった病気を治療できるようになることです。私自身、散々副作用とも戦いながら抗がん剤治療を行ってきた小児がんの患者さんが再発してしまっただけに、ひとつの分子標的薬を1日1回内服してもらっただけで1か月後にはきれいに完全寛解が得られた経験をしてきました。本当に医学の進歩は素晴らしいです。

もちろん、分子標的薬にはそれぞれ特有の副作用があったり、また特定の分子を標的として作用する医薬品であるが故に、その標的が失われたり、別経路での疾患の活性化機序を獲得した際の耐性化の問題、また高額な医薬品が多いため医療経済的な面での問題などもあります。しかし、私たちが分子標的薬を「極める」ことでこれらの問題に取り組み、現代医学の英知を病気に苦しむ子どもたちに届けることで、子どもたちの真の笑顔につながることを期待して、あとがきを終わりたいと思います。

(富澤大輔)

■編集顧問

駿河敬次郎	白木和夫	阿部忠良	藤川 敏
阿波彰一	山口規容子	飯沼和三	大和田 操
伊藤文之	柳川幸重	児玉浩子	岩田 力
麦島秀雄	桃井真里子	山中龍宏	藤澤知雄
横田俊平	小原 明	衛藤 隆	椎原弘章
田原卓浩	横田俊一郎	粟津 緑	五十嵐 隆
稲毛康司	下条直樹	田島 剛	淵上達夫
森尾友宏	大橋十也	浦上達彦	賀藤 均

■編集主幹

清水俊明 秋山千枝子 窪田 満

■編集委員

伊藤純子	乾あやの	小野 博	小崎健次郎
小林茂俊	小松充孝	島袋林秀	東海林宏道
高橋謙造	富澤大輔	成田雅美	日暮憲道
広瀬宏之	三浦健一郎	道下崇史	森岡 一朗

小児内科 第55巻 第2号(2月号)

2023年2月1日発行(毎月1日発行)

定価3,190円(本体2,900円+税10%)

※消費税税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

2023年前金予約購読料 53,240円(本体48,400円+税10%)

増大号1冊・増刊号1冊(小児内科・小児外科合同)含む

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です。

*ご転居の際は「小児内科」とご明記の上、新旧のご住所を販売部までご連絡下さい。

編集 小児内科編集委員会

発行 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9113(直) FAX 03-3237-9115

E-mail: shonai@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551(代) FAX 03-3265-2750

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医学社が保有します。

・**JCOPY**〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089), e-mail: info@jcopy.or.jpの許諾を得てください。

本誌広告取り扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル5F
TEL 03-3814-8541(代) FAX 03-3816-0415